

擁壁

ASUZAC

Contents

ポラメッシュ (垂直擁壁)	P.038	バイコン 基礎ブロック3・4・5 (省力化積みブロック関連パーツ)	P.073
しずか (ポーラスコンクリート大型ブロック)	P.046	バイコン 小口止めブロック (省力化積みブロック関連パーツ)	P.076
うらかたくん (大型ブロック積擁壁 専用裏型枠付)	P.050	テラセル擁壁工法	P.079
CKフォーム (かご式残存型枠擁壁)	P.056	箱型擁壁工法 (フリーウォール)	P.083
ヘキサゴン (レベル積み曲線安全施工ブロック)	P.062	テールアルメ工法	P.087
積みブロック	P.065	テンサー工法 (盛土・地盤補強用ジオグリッド)	P.091
クイックブロック (省力化積みブロック)	P.067	EPS工法 (発泡スチロール土木工法)	P.095
クイックブロック調整パネル (省力化積みブロック関連パーツ)	P.071		

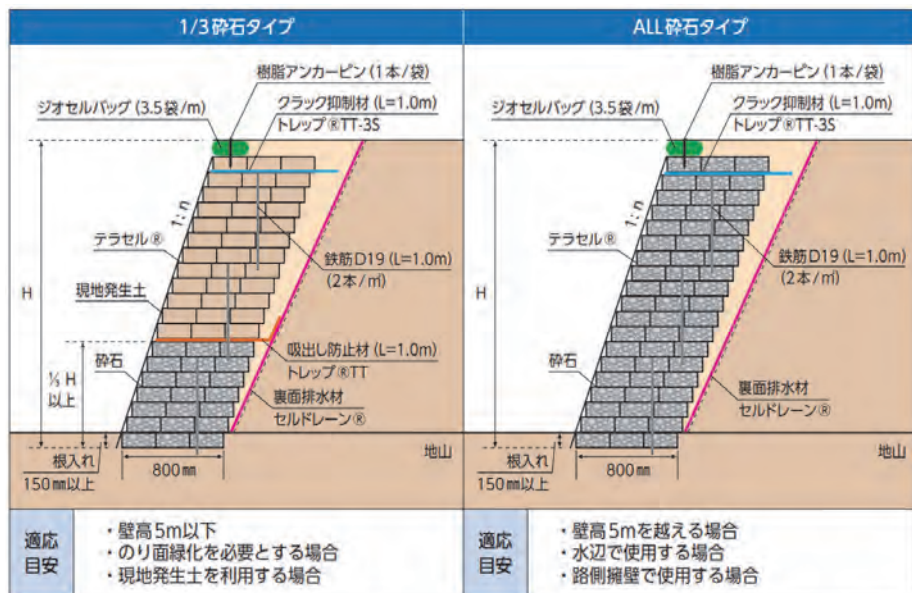
テラセル擁壁工法とは、展開したテラセル（ジオセル）に現地発生土や砕石を充填し、段積みすることで擁壁を構築し、切土のり面を保護する工法です。



特 長

1. テラセルの原材料は高密度ポリエチレンを使用し、表面のシートには厚さ 1.5 mm のテクスチャー加工を施したシートを使用しているため、十分な耐候性を持っています。対薬品性にも優れており、酸性度・アルカリ性土などのあらゆる土壤に適応します。
2. テラセルは約 4kg/枚と軽量なため、容易に運搬ができます。
3. テラセルはハニカム構造のため、中詰材を拘束することで現地発生土や砕石等の様々な中詰材を状況に応じて使用できます。
4. 使用する部材が少なく、施工方法も展開・充填・転圧の繰り返し作業なため、施工期間の短縮が可能です。
5. 壁面勾配 1:0.1 ~ 1.0 で壁高 8m までの高さに対応可能で、現地の状況に合わせた曲線部の施工や勾配変化にも容易に対応できます。
6. 植生可能な中詰材を使用することで、セットバックした部分への植生工や在来種の飛来による緑化ができます。

標準断面図 (5m 以下の場合)

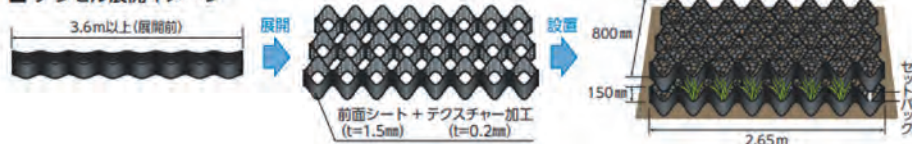


■ テラセル擁壁工法用 製品規格

セルタイプ	型式	標準展開寸法 (H×W×L)	重量	カラー
3セルタイプ	TW-150M	150mm × 2.65m × 0.800m	約 4.0kg / 枚	ブラック
4セルタイプ	TW-150M-CL4	150mm × 2.65m × 1.067m	約 5.0kg / 枚	ブラック
5セルタイプ	TW-150M-CL5	150mm × 2.65m × 1.333m	約 6.0kg / 枚	ブラック

※上記製品規格以外は、製品寸法、製品カラー等、特注生産になりますので、ご相談ください。

■ テラセル展開イメージ



施工手順



テラセル荷姿

◀シート状でコンパクトにまとめられておりますので、材料置き場が省スペースですみます。



1 テラセルの展開
補助枠にテラセルを規定の大きさに展開します。



2 基礎地盤の整地とテラセルの設置
展開したテラセルを所定の勾配に設置します。アール施工、折れ施工はコーナー部用の補助枠を使用し、設置します。



3 テラセルの接続
テラセル同士は接続ビスとセルロックでジョイントします。



4 土の撒出しと転圧
中詰材を撒出し転圧をおこないます。



L型擁壁

擁壁

のり面

張出製品

河川製品

ため池

ボックス
カルバート

バイン台管

マンホール

側溝

道路製品

水路製品

貯留システム

石材

付録



5

吸出し防止材の設置

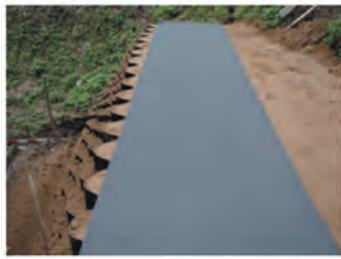
砕石層と発生土のセパレーションとして、もしくは排水材として、不織布を設置します。



6

補助鉄筋の打設

上下の一体化を高めるため、6段(90cm)ごとに2本/mの鉄筋D19(L=1.0m)の鉄筋を打設します。



7

クラック抑制材の設置

長繊維不織布トレップ TT-3S を設置します。



8

ジオセルバッグ(土のう)の設置

天端保護のためジオセルバッグを樹脂アンカーピンで固定し、完成です。

完成